

Hm²助成支援団体のご紹介

しもむかいかぐらだん
下向神楽団

くにた こうじ
代表 **國田 晃司さん**

広島市安佐南区沼田町伴地区で、約160年前に設立された下向神楽団は安芸十二神祇系の流れをくみ、現在約30人の団員が地域のお祭りや祝い事で神楽を舞っています。神楽団は、子どもから大人まで幅広い世代で構成されており、衣装も地域の方々が自前で制作するなど、まさに神楽を通して地域の絆の確認や、まちづくりが行われているとも言えます。その下向神楽団が週2~3回行う練習の場として利用しているのが、平成24年10月に改修された地域の集会所併用の神楽殿です。

神楽を通して文化の伝承と交流の拡大を図る

今回改修された神楽殿は、建物の老朽化とともに、舞手の多い神楽演目によっては狭く難しくなったことから、広く改築してより多くの神楽を舞って演技力をアップさせると同時に、地域に長年伝承されてきた神楽をこれからも継承し続けていくためにとの目的から改修されました。

「神楽殿の外部に濡れ縁を設け、間仕切りの壁を取り除くと共に、新たな床を張ることで部屋の拡張整備を行いました。こうすることで建替えをしなくても、多くの舞手が出る演目の神楽を舞うことが十分可能となり、太鼓などの囃子の場所も確保することができました。また神楽練習や地域の祭り

にも濡れ縁を利用することで、より迫力のある神楽を披露することができ、神楽の醍醐味を多くの人たちに披露することができるようになりました。昨年10月の竣工記念では、地域の住民の人たちにこの神楽殿を利用して神楽を披露しました。また集会所としても利用して、地域住民の交流拡大にも繋がっています」と代表の國田さんは語ります。

安佐南区沼田町伴地区で、約160年近くも歴史を持つ伝統芸能、下向神楽の伝承を通して地域内外のまちづくりの根源となることを推進していくために行われた今回の改修工事。

「神楽殿の改修工事を通して大人から子どもへ地域文化の伝承とコミュニティ活動の活性化を図っていくことはあまり前例のないことでした。工事も無事に終了し、むしろこれからは大切だと考えています。安佐南区沼田町伴地区では唯一の神楽団としてどう活動していくのか。例えば、今後は同地域にもある沼田高校とも連携して神楽指導を行い高校生神楽クラブの発足にも繋がってほしい、もっと地域が活性化して、コミュニティ活動も盛んになっていくのではと考えています」と國田さんは今後の夢を語ってくれました。



▲新しい神楽殿の様子

わか ひめ
若&姫の会

なかむら ひであき
会長 **中村 英明さん**

平成23年3月11日に発生した東日本大震災をきっかけに、地域の絆を再確認する必要性を感じた広島市東区福田7丁目大和台団地の住民約15人によって結成されたのが若&姫の会です。

大和台団地には、約300世帯およそ1000人近くが暮らしており、住民の絆を深める手段として自治会組織があるものの規模が大きくて小回りがきかないため、団塊世代を中心とした人たちによって、もっと近隣の住民たちに気軽に声をかけて交流の場を作る目的で会はスタートしました。

地域内連携を積極的に図って絆を再確認

「もともとは、団地内の主婦の人たちが井戸端会議的な感覚で集まっていた組織をベースに男性陣も加わって作られました。女性は細かい部分にも気配りができるし、いざと言う時にも力を発揮します。会を作る時も躊躇なく活動が始まりました。

団地内には、高齢者の独り暮らしの方も多く住んでおり、会のメンバーが定期的に訪問して元気な姿を確認したり、気軽に集まれる場を設けて参加してもらうことで刺激のある日々を送ってもらうことを目指しています」と代表の中村さんは語ります。

毎月1回、第一火曜日の午前中に団地内の集会所で行わ



通学路のごみ清掃の様子 ▶

▲クリスマス会の様子

れる会合で、会のメンバーが高齢者の方々に声をかけて参加を促し、趣味の展示会や盆栽展示、他の地域からマンドリン倶楽部を招いての演奏会を開催。さらに豆まきや雛祭りなどの季節にあわせた行事を行い、行楽シーズンには近隣の広島県緑化センターへお花見やもみじ狩りに出掛けているそうです。

「高齢化社会への対応、災害時に対処できる力を備えた地域社会の形成などを目指して作った会も、結成2年目を迎えた昨年は、定期的な会合に加えて、地域の子どもたちに向けて通学路の清掃ボランティア活動や過去の仕事経験を活かした子ども会支援活動なども始めました。夏には、私が元航海士だった経験を活かして、星座観測会を開きました。地域の子どもたちに夢を与えるようなイベントもこれから展開して子どもの健全育成のお手伝いもできれば」。

これから団地内の高齢化が進む中で、中村さんをはじめとする会のメンバーは地域での住民の結びつきがますます必要となってくると考えています。その中でもこの若&姫の会が、自治会組織と連携して地域でのリーダー役を育成できる場になればと考えているそうです。

さんらいず

てしま えり
代表 **手島 恵理さん**

キャンプに参加したメンバーとの記念撮影 ▶

さんらいずは、広島市安佐北区の子ども会でリーダー役を務めた経験を持つ大学生が中心となって結成した、小学1年生から4年生を対象としたキャンプを企画実施する団体です。

仲間との集団生活や自然体験を通してずっと続く人とのつながりを大切にしたいとの願いを込めて、平成22年に設立し、これまでに広島市内の施設で6回のキャンプ活動を行ってきました。

集団生活を通し自立できる子どもへの成長を願う

キャンプに参加するメンバーは小学1年生から4年生で、手島さんたちがあえてその年齢層を対象にしたのも、受け入れ体制の難しさから低学年を対象としたキャンプが少ないことに気がついたからだそうです。

「設立前は、低学年だけのキャンプを企画運営することについて不安視する声もありました。しかし、低学年の子どもたちも学校や家庭・親から少しだけ離れ友だちと協力しながら自分に何ができるのか、その可能性について挑戦してみることで、自信につながるきっかけを作ることができるとは。それが高学年になった時に友だちとの集団生活にも自然と溶け込み、将来は、自分から地域活動にも関わ



れる大人になっていける、そんな人になって欲しいと考えています」と代表の手島さんは語ります。

また、キャンプに4年生をメンバーに加える理由として、彼らに実際のキャンプの場でお兄さん・お姉さん役として低学年の世話をする意識を高めるねらいがあるそうです。

第1回目のキャンプは、安佐北区高陽町内の小学生24人が参加して、広島市青少年野外活動センターで開催。今年1月に行われた第6回目のキャンプには、過去の実績が口コミで広がり、42人の募集人数に対し、広島市全域から65人の応募があり、抽選が行われたそうです。

「運営スタッフは、社会人、大学生を中心に24人でそれぞれがカウンセラー、プログラム、マネージメントの3部門に分かれてキャンプの運営にあたっています。実施の際には、事前に親子を集めての説明会を開き、参加費も兄弟姉妹がいる家庭には二人そろって参加して欲しいとの思いから低価格に抑え、キャンプ終了後には親子でその思い出を共有して欲しいと考えて解散時には写真を、また後DVDを送っています。この活動を通して、子どもたちに人と人との繋がりを大切にする心が育まれれば、と考えています」と手島さんは意気込みを語ってくれました。

寄付のお願い

「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支えていこうという基金です。現在、その基金を取り崩して助成を行っています。私たちの住む広島のまちをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

- 振込先** 広島銀行広島市役所支店／別段預金 No.3000017
- 口座名義** 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口
専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限りです)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。



基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…【ひと(Hito) まち(Machi) 広島(Hiroshima) 未来づくり(Miraizukuri) ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって「ふむふむ」と読みます。「ひと、とまち、をつなぎ、」広島、の「未来、を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。

公益信託広島市
まちづくり活動支援基金
**ひと・まち広島
未来づくりファンド**
ふむふむ
Hm²

(財)広島市未来都市創造財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は公開により、学識経験者などで構成する運営委員会が審査・選考を行っています。

平成24年度助成団体や助成額等については、(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部のホームページをご覧ください。

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

人材バンク 名人宝人 達人

さまざまな分野の達人たちが登録している
まちづくりボランティア人材バンク。地域活動や
まちづくりのお手伝いに、今日も、あなたのまちな
達人たちがおうかがいしています。

**伝統芸能は身構えて学ぶのでは無く、
もつと気軽に楽しく学ぶことで継承されていく**

小唄小西派師範 梅田 笑子さん



幼い頃から、祖母が弾く三味線を聞いて育った梅田笑子さん。いつのまにか梅田さん自身も三味線の音色、民謡、小唄の言葉遣い、間の美しさに魅かれて三味線を習い始めたそうです。梅田さんは結婚後しばらくの間三味線を弾くことを控えていましたが、



▲矢口が丘集会所で活動する皆さん

きたんです。現代とは違い、娯楽が少なかった昔は、三味線を弾く機会も多くありましたが、今は

減っています。三味線を伝承していくためには、伝える人とそれを受け継ぐ人との信頼関係がなくては、きれいな音をだすことはできないと私は考えています。また、三味線は生活を清潔にし、心の乱れを無くさなくてはきれいな音色を弾くことはできません。そんな現状を救い、一人でも多く三味線愛好家を増やすために努力ができればと考えています。

梅田さんは、90周年を迎えた小唄小西派の師範の免状を取って師匠として活躍しながら、自宅で



三味線を教えています。また、町内の老人会のサークル「民謡くら会」での三味線伴奏や、安佐北区・東区の集会所で定期的な三味線の弾き方をボランティアで教えています。さらに時代とともに忘れられつつある小唄を一緒に歌い継ぐ活動も行っています。「三味線や小唄を、いざ始めよう」とすると、どうしても難しく感じて上手く弾き唄うことができません。私は、もつと気軽に弾いたり歌ったりすることができるよう楽しく教えていきたいと考えています。それが三味線を弾く人や小唄を歌う人の増加に繋がっていくのではないのでしょうか。過去に、広島市の文化使節団の一員としてハワイに赴き、日本の伝統芸能である三味線を披露した経験を持つ梅田さんは、今後、小唄の伝承者として、楽しみ方を気軽に生活に取り入れるコツを多くの人に教え続けると同時に、外国の方にも三味線や小唄の魅力について伝えたいという夢をもっています。

**子どもの成長過程に必要な親の力。
それは、保護者の良質な言葉がけと接する態度**

親塾ひろしま 石崎 尚美さん

子育て中の保護者を対象に、親の力を高めるための支援をしている石崎尚美さん。5年前から広島県生涯学習センター公認「親の力を高めよう学習プログラム」のファシリテーターを務め、広島市立の幼稚園、小学校、中学校で親向けに講座をしてきた経験などを活かして、子どもと同じように親にも塾のようなものが必要だと思い、平成24年に開設したのが「親塾ひろしま」です。

はじめ問題、不登校、ひきこもり等々、学校を中心とした話題が社会的に注目を浴びる中、家庭での教育の重要性が改めて見直されています。石崎さんは、現代では「子育て」が「孤育て」となっている現状をふまえ、家庭での親の言葉がけの持つ力は大切に

開いています。さらには石崎さんは、診断、発見、修正はできるだけ子どもが低年齢の早いうちにと訴えます。はじめ問題、軽度発達障害、引きこもりぎみ、不登校ぎみ、受験期・思春期の子育ての悩みなどを抱えておられる保護者とその子どもを対象に、それぞれ



のケースに応じた個人レッスンも行っています。また、この分野においては、専門性及び実務能力が非常に重要な意味を持つと考え、保育士になれる方へも週一日、「保育の心理学」(旧発達心理学)の授業も受け持っています。世の宝物である子どもの支援を保護者へのアドバイスで子育てを支援することで実行し、良質な言葉がけをし、接することのできる親と保育士を増やすことで「指導者として社会貢献度をより高めたい」と考えているそうです。彼女自身の20数年にわたる子



育て経験を踏まえて活動を実践する姿に、そして社会復帰も危ぶまれる程の大病を乗り越えられた経験から、命の大切さを痛感したうえでこの覚悟と使命のようなものを感じました。



「○○の達人さん！
まちづくりボランティア
人材バンクに登録して
あなたの特技を生かしませんか？」

あなたの技術や資格、専門知識などを生かして、団体やグループにアドバイザーや指導をお願いします。まずは「登録申込書」をプラザに提出してください。ご自身の達人ぶりをできるだけ分かりやすくPRしましょう。「登録申込書」はプラザで配布するとともに、プラザHPやひろしま情報a・ネットからもダウンロードすることができます。

登録された内容は、人材バンク登録内容リストやひろしま情報a・ネットで公開します。ただし、住所、電話番号などは非公開。最初の連絡調整はプラザが行います。

いろいろな市民グループや施設があるの力を必要としています！近年では、社会福祉協議会や子ども会等の地域団体、公民館、福祉施設等からの依頼が増えています。

達人たちの情報が満載の人材バンク登録内容リストはプラザにも公民館などにもあります。

また、ひろしま情報a・ネット <http://www.a-net.shimane.jp/hiroshima.jp/>でも見ることが出来ます。



まちづくりボランティア 人材バンク発表会

今回ご紹介している方々は、「まちづくりボランティア人材バンク」に登録されています。登録者が自らの達人ぶりを披露します。参加は自由ですので、気軽にお立ち寄りください。日時 毎月第4土曜日午後2時～4時 場所 Ⅱ南棟1階ロビー 参加費・申込 Ⅱ不要

月日	内容	出演者名
4月27日(土)	人間関係を良くする技法の傾聴とメンタルヘルスの習得	扇谷 多喜子さん
5月25日(土)	漢方の知恵と安全なダイエット	藤原 勉さん
6月22日(土)	銭太鼓の演技や南京玉すだれなどの披露	スリーコインズ
7月27日(土)	広島の自然・歴史・文化から学ぶ	足利 宏二さん

※内容等変更になる場合があります。

紹介申込・登録申込などの
お問い合わせは...

まちづくり市民交流プラザ
入
082-5453911
082-5453838
082-5453838